

*** **

としょかんの TOMO みなみそうま



TOMO主催 第31回 講演会のご案内



7月7日(土) PM2:30~4:00 (質疑含む)



マルチメディアホール(市民情報交流センター)にて



★参加費無料★

《 南相馬市立図書館のめざす、次のステップをみんなで想像しよう! 》

- ☆ 市民一人ひとりを支える…遠くにいる方々を!
- ☆ 学校の生徒さんを、地方自治を、支える図書館!
- ☆ それぞれの方の課題解決に役立つ図書館!



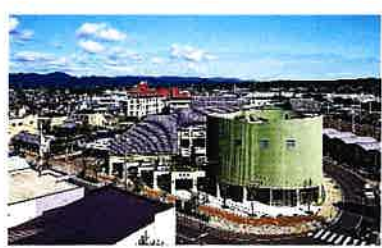
各地の新しい図書館づくりの話題を材料に、図書館員の皆さんと一緒に、
～南相馬図書館の10年目、第二章のお話をいたしましょう～

講師 **寺田 芳朗** 氏 (寺田大塚小林計画同人代表)

※神奈川・大磯町、福岡・苅田町、佐賀・伊万里市、埼玉・小川町、千葉・君津市、長崎・多良見町の図書館を設計・設計監理。沖縄・名護市、滋賀・愛知川町図書館 設計のみ。都市・地域(まちづくり・公園緑地・道路・プロムナード・歴史的建物保全活用)計画。制度研究。その他多数。
南相馬市立中央図書館・市民情報センター設計・設計監理。

*** 皆さんの質問や疑問にお答えします! いろいろ自由に話し合いましょう!**

★ 会員問わず、お誘いあわせのうえ、お出かけください! ★



※ 問い合わせ先

会代表 鎌田孝子 (Tel23・6720)

後援; 南相馬市教育委員会

*** **

来年12月には10歳の南相馬図書館、次のステップを皆で想像しましょう。

計画同人 寺田芳朗・小林春奈

梅雨明け間近の7月7日、としょかんのTOMO主催の市民と図書館員の集いに、設計者計画同人の寺田と小林が参加してお話しました。なつかしい顔が並ぶ楽しい会でした。集いの呼びかけは、市民一人ひとりを支える。それは、遠くにいる方々を、右のようなコピー ライトでした。学校の生徒さん達を、地方自治を、故郷を、支える図書館。それぞれの方々の課題の解決に役立つ図書館と考えてきた、もうすぐ10歳のわたしたちの図書館の物語りのつづきは！各地の新しい図書館づくりの話題を材料に、図書館員の皆さんと一緒に、南相馬図書館10年目、第二章のお話をいたしましょう。

鎌田孝子TOMO会長さんのご挨拶があって、そして、はじまりのテーマは、

- 1, もうすぐ10歳の私たちの図書館・・・利用者の目、図書館員の目、から話そう。
 - ①がんばってきたね。統計でわかる図書館のいま：登録率、貸出冊数、アウトリーチ、
 - 移動図書館がはじまって。→ 学校図書館につながって。
 - サービス指標の目標。そして、サービスの質。を考えてきた。
 - ②さて明日は、本の森、図書館サービスの枝をどう伸そう：資料世界、図書館の施策、
 - 出会っていない57.7%の市民に向けて、何が出来るか。
 - 資料世界のブラウジングはさらに魅力的に、どんな工夫を。
 - 資料とサービスの魅力、場の提供の魅力、出会いの機会の魅力。

地域資料に明るい寺田亮学芸員さん、図書館チームの若手佐藤美希司書、子ども奉仕の佐藤真紀司書、レファレンスに強い早川大輔司書、開館以来の活躍の高橋将人司書が、いまの南相馬図書館について、それぞれのご体験を交えて皆さんにお話しをされました。つづいて、近年の他市各地の図書館での取り組みについてご紹介をしました。

- 2、図書館が「市役所（地方自治）」を支える。
 - ①根本彰著「続情報基盤としての図書館」（日野市立図書館市政図書室での調査から）
 - ②戸室幸治著「地域資料・情報サービスの本格的展開を」（みんなの図書館誌の連載）
 - ③片山善博講演録「地域づくり・人づくりと図書館」「図書館のミッションを考える」
 - ④文部科学省の研究会発表資料から「地域の情報ハブとしての図書館」について学ぶ。最近話題に上がる「課題解決型の図書館」とはどういうものか話題提供し考えました。
- 3、図書館員のしごと、最近こころ動いたこと、ありますか。

設計者たちがお手伝いした図書館と長くお付き合いを続ける中で、館員から伺ったり話題になったことごとをご紹介し、南相馬で開館以来の「こころ動いた話」いくつかを、高橋将人さんからうかがいました。これには、私たちもあまりにうれしかったので、書き記すのを控えておこうと思います。図書館が図書館に成って行く話でした。

当日の会場には、南相馬市の図書館をつくり育てた方々のお顔もたくさん見えました。陣頭で井戸を掘った人渡辺一成元市長さんや、今も応援団長の小川尚一議員さん、図書館に集い支えるTOMOのお仲間たち。中央館開設の中心に居て今は有隣館館長の安齋久司元館長はこれまでを振り返り思いをお話しされました。第二部懇親会では、堀川伸浩館長と開館以来図書館を守っている齋藤亜紀子司書さんとも、図書館のお話しがつつきました。まるでこれから図書館をもう一度創るような熱気であったことに、驚く思いでした。